

住友化学プロフィール

岡山プラント概要

操業開始 大正4年(1915年)
 総面積 72,400㎡
 従業員数 202名
 生産品目 医薬原体、医薬中間体

本社(東京)

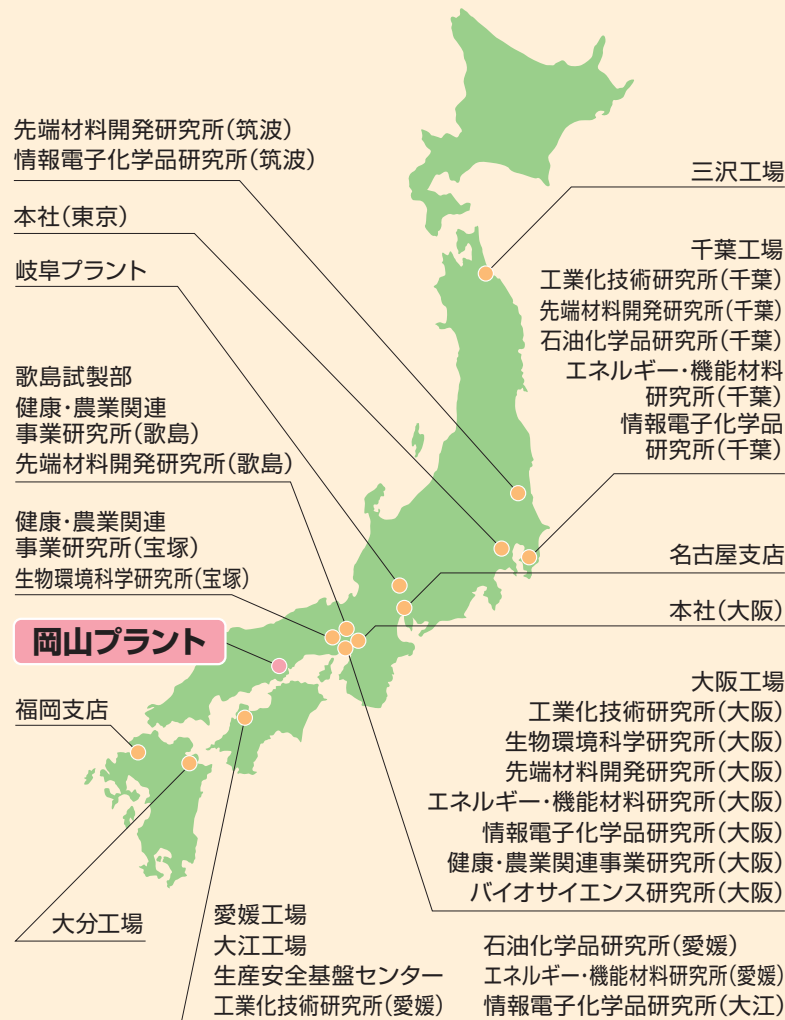
〒104-8260
 東京都中央区新川2丁目27番1号
 東京住友ツインビル(東館)
 電話:03-5543-5500
 Fax:03-5543-5901

本社(大阪)

〒541-8550
 大阪市中央区北浜4丁目5番33号
 住友ビル
 電話:06-6220-3211
 Fax:06-6220-3345

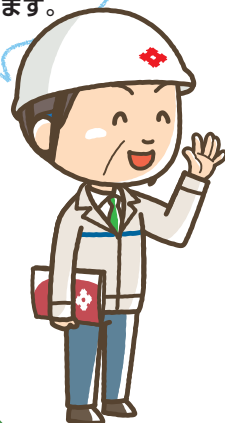
主な海外事業拠点

【北米】ニューヨーク、ボストン、シアトル、フェニックス
 【中南米】サンパウロ
 【西欧】ロンドン、ケンブリッジ、ブリュッセル、ミラノ、バルセロナ
 【アフリカ】プレトリア、アルーシャ
 【東アジア】ソウル、北京、大連、上海、香港、台北、高雄、台南
 【東南アジア】シンガポール、クアラルンプール、バンコク、ホーチミン、マニラ
 【南アジア】ムンバイ
 【西アジア】ラービグ、ジェッダ
 【オセアニア】シドニー



ご意見・お問い合わせ、また工場見学のご希望などがございましたら下記までご連絡ください。
住友化学株式会社 岡山プラント 総務部
 電話 086-477-7771 FAX 086-477-7710

岡山プラントの、
 環境・安全への取り組みを
 見ていただけましたか？
 これからも、岡山プラントを
 よろしく願います。



岡山プラントは、
 地域・社会・環境のために、
 さまざまな活動で
 貢献しているんですね！
 今日はありがとうございました。



石油系の溶剤の代わりに植物油を使用した、植物油インキを使用しています。揮発性有機化合物(VOC)の発生を抑え、石油資源の保護に貢献します。



環境安全 レポート 2018

岡山プラントの
 レスポンシブル・ケア活動



ごあいさつ



皆さまには、平素より私ども住友化学大分工場岡山プラントの事業活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

岡山プラントは、1915年、繊維産業に必要不可欠な合成染料の国産化を目的として設立された尾崎染料製造株式会社を前身とし、幾度かの事業変遷を経ながら100年以上にわたりここ児島の地で操業を続けて参りました。現在では医薬化学品、生活環境剤、樹脂用添加剤など、人々の健康や生活に密着した製品を生産していますが、これも偏に地域の皆様のご理解あってのものであり、改めて深く感謝申し上げます。

私どもは創業以来、「無事故無災害」「地域社会との共存共栄」「顧客重視」を基本として事業活動を行ってきました。今後も社会の発展に幅広く貢献する製品を開発、製造、提供することを使命として取り組んでいきます。

そして法令、社会規範や企業倫理の遵守、すなわちコンプライアンスを徹底し、開発から製造、流通、使用、廃棄に至る製品の全ライフサイクルにわたって安全・環境・品質に責任を持つ自主的な活動である「レスポンスブル・ケア（RC）活動」をプラント員全員が積極的に推進しています。こうした活動を積み重ねていくことで皆さまに安心、信頼していただくとともに、地域経済にも貢献しつつ従業員が活力を持って働ける「人と環境にやさしい事業所」づくりにまい進してまいります。

また当社では、化学産業は国連が掲げる地球規模の課題である「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け大きく寄与できる産業であると考えており、事業を通じてこれに貢献していきます。

本レポートでは、最近の岡山プラントのRC活動の取り組みや実績をご報告いたします。是非ともご一読いただき、私どもの活動について理解を深めていただきますとともに、皆さまの忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

2018年9月
住友化学株式会社 大分工場 岡山プラント
プラント長 樋口 義弘

会社紹介

住友化学のあらまし

社長	十倉 雅和	本社所在地	(東京) 東京都中央区新川2丁目27番1号 東京住友ツインビル東館
創業	1913年9月22日		(大阪) 大阪市中央区北浜4丁目5番33号 住友ビル
営業開始	1915年10月4日	事業部門 (連結)	石油化学部門、エネルギー・機能材料部門、情報電子化学部門、健康・農業関連事業部門、医薬品部門、その他
設立	1925年6月1日	関連部門 (連結)	健康・農業関連事業部門、エネルギー・機能材料部門
資本金	897億円		
連結売上高	21,905億円(2018年3月期)		
連結従業員数	31,837名(2018年3月31日現在)		

100年以上の歴史がある会社なんだね。



大分工場 岡山プラントのあらまし

プラント長	樋口 義弘	従業員数	197名(2018年3月31日現在)
所在地	〒711-0903 岡山県倉敷市児島田の口 6丁目4番1号	敷地面積	72,400㎡
		関連部門	健康・農業関連事業部門、エネルギー・機能材料部門
		生産品目	医薬化学品、生活環境剤、樹脂用添加剤等

※大分工場は、岡山プラント以外に大分工場、歌島試製部、岐阜プラントがあります。



本館事務所(1915年建築)

「無事故無災害」
「地域社会との共存共栄」
「顧客重視」が
岡山プラントの
基本理念です。

岡山プラントでは、
おもに医薬化学品を
生産しているんですね。



Contents 目次



会社紹介	3	労働安全衛生	20
レスポンスブル・ケア活動	6	保安防災	22
環境保全	8	地域とのコミュニケーション	24
化学品安全・品質保証	19	環境保全活動トピックス	26

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月25日-27日、ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。本アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げました。この目標が、ミレニアム開発目標（MDGs）の後継であり、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。住友化学グループも、これらの持続可能な開発のための諸目標の達成に向けた取り組みに貢献していきます。

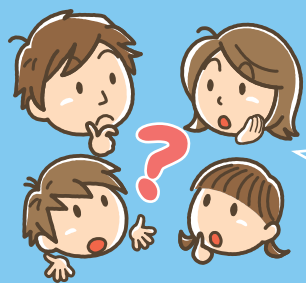
住友化学 岡山プラントへ ようこそ!

0 100 200(m)



工場の中は安全ですが、
万が一ケガをしないよう、
ヘルメットと保護メガネを
つけてくださいね。





「レスポンシブル・ケア」って、 どんな活動？

製品を新しく作り出すところから、お客様に使用され、最後に廃棄されるまで、地球環境や私たちの健康・安全を守るための活動です。

レスポンシブル・ケア活動

私たちの豊かな暮らしは、多くの化学製品によって支えられています。しかしこうした化学製品は、その製造や使用などにあたって、あやまった取り扱いをすると、時には私たちの健康に害を与えたり、事故や環境問題をひき起こすおそれもあります。特に今日では、地球環境問題や技術の進歩などによって発生する新たな問題に対して環境・安全・健康を守るために、化学物質を取り扱う企業が自主的に責任ある行動をとることが求められています。

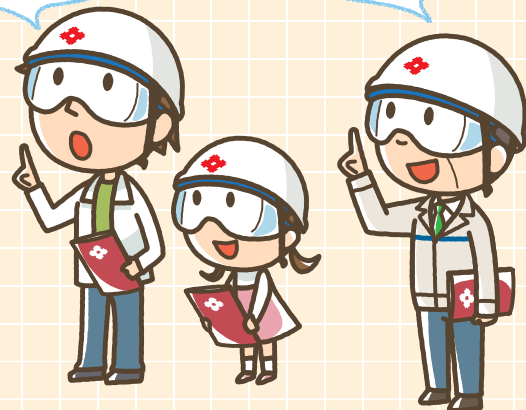
そこで、世界の化学産業界は、国際的に連携し、開発から製造、流通、使用、そして廃棄にいたるまで、環境・安全面の対策を実施する活動を展開しており、これをレスポンシブル・ケア(RC)活動と呼んでいます。

私たち住友化学も、「安全、環境、品質に関する基本方針」のもとで、RC活動を進めています。そして岡山プラントにおいても組織をあげて、無事故・無災害や、環境への影響の低減に取り組んでおり、今後とも、地域社会やお取引先のみなさまに信頼していただけるように、また従業員が安心して働けるように全力を尽くしています。



企業には責任ある行動が求められているんだなあ。

製品づくりにおいて、とても大切なことなんですよ。

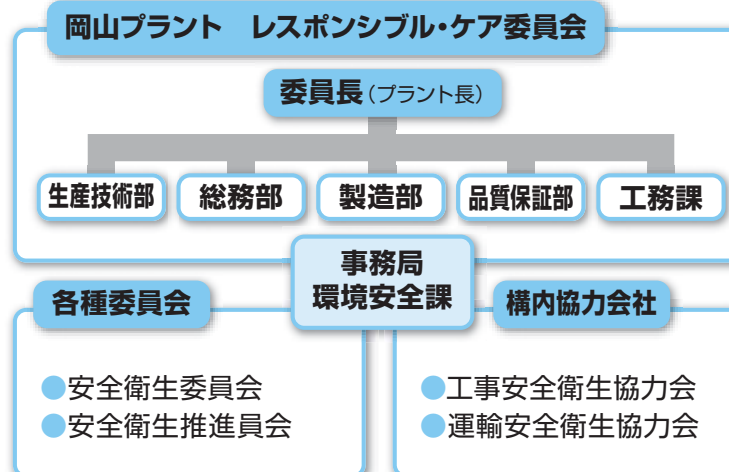


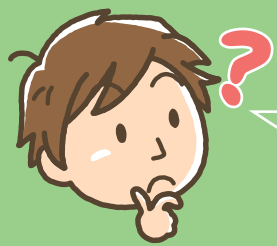
レスポンシブル・ケアの 主な活動内容

レスポンシブル・ケアは、大きく「環境保全」「化学品安全」「保安防災」「労働安全衛生」の4分野に分類されます。住友化学は、この活動の中に「品質保証」も加えて活動しています。



<組織図>





環境を守るために、 どんなことをしているの？

地域や社会のために、環境の大切なルールをつくり、それに沿ってさまざまな取り組みを行っています。

環境方針

理念 私たちは、環境問題が人類共通の重要課題であることを認識し、地球社会の持続可能な発展に貢献するために活動していきます。

方針 岡山プラントは、瀬戸内海国立公園エリアに立地し、且つ医薬化学品及び化成品等の生産により、資源・エネルギーを消費する工場であることを踏まえ、以下の方針に基づき環境マネジメントを実施します。

- 1 環境に関する法令等及び協定等のもとより、自主管理基準を遵守することにより環境汚染の予防に努めます。
- 2 環境方針を達成するために、ISO14001環境マネジメントシステムを活用し、環境目的・環境目標を定め、環境管理計画を実行することにより継続的な改善を図ります。
- 3 『エコファーストの約束』に基づき、化学物質の排出量低減、省エネルギーの推進、CO₂の削減、廃棄物の発生抑制、再資源化を推進することで、地球温暖化への対応、持続可能な資源の利用、生物多様性、生態系の保護等の地球環境保全に取り組みます。
- 4 環境教育・社内広報活動を充実し、全従業員の環境方針の理解と環境に関する意識向上を図り、また協力会社へも環境方針を周知し、理解と協力を要請します。
- 5 『地域社会との共存共栄』、『無事故、無災害』、『顧客重視』の基本理念に則り、地域社会の一員として、地域の皆さんや関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献します。



この方針に沿って、
運営しています。

2018年4月1日
住友化学株式会社
大分工場 岡山プラント長



なるほど〜。

環境を守るため、岡山プラントでは国際的な基準に沿ったルールを決めて運営をしています。

ISO14001

2001年1月に環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001 (1996年版) の認証を取得しました。その後、2005年12月にはISO14001 (2004年版) の新規格での認証登録、2018年5月にはISO14001 (2015年版) の新規格での認証登録を行ない、規格が要求する環境マネジメントシステムに適合した運営を通じて継続的に改善を行うため、以下を目的・目標に掲げ、全部門で取り組みを推進しています。



環境負荷の低減

- 大気汚染物質の低減
- 排水負荷削減
- 臭気の低減
- 廃棄物の削減 等

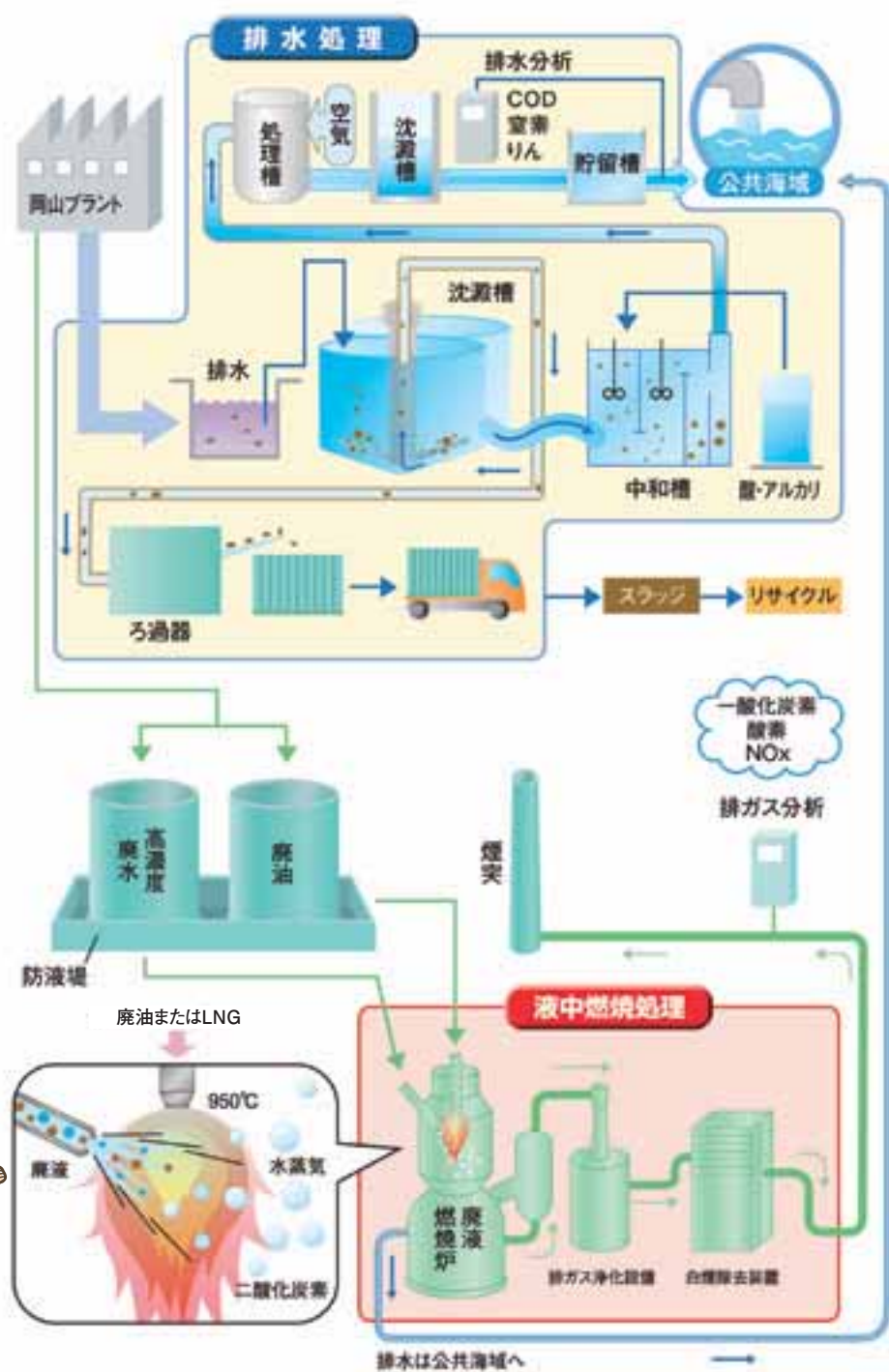
省資源・省エネルギー

- 古紙回収、廃プラ、金属くずの回収
- 再生ドラム缶の使用
- 省エネ型の冷凍機、空調機、LED照明
- 空調温度管理(夏季28℃、冬季19℃) 等

きれいな海を守るため、工場で使った水はきちんとした管理のもと処理をして放流しています。

環境処理設備の概要

当プラントの環境処理設備の概要は下図のとおりです。

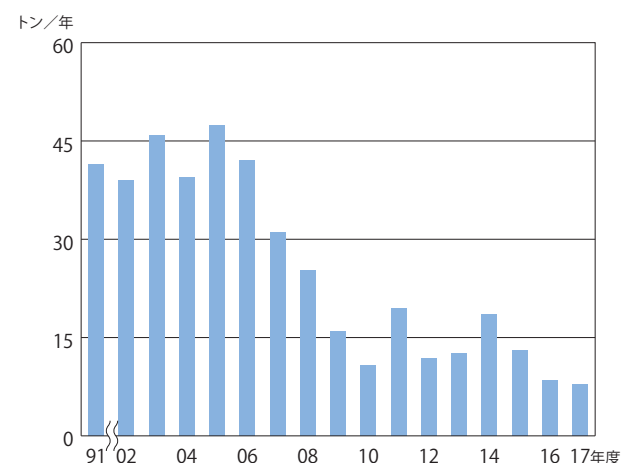


排水はこのような処理されているんですよ。

厳しい管理のもと、水がキレイになるんですね！

水質汚濁防止への取り組みデータ

COD排出量

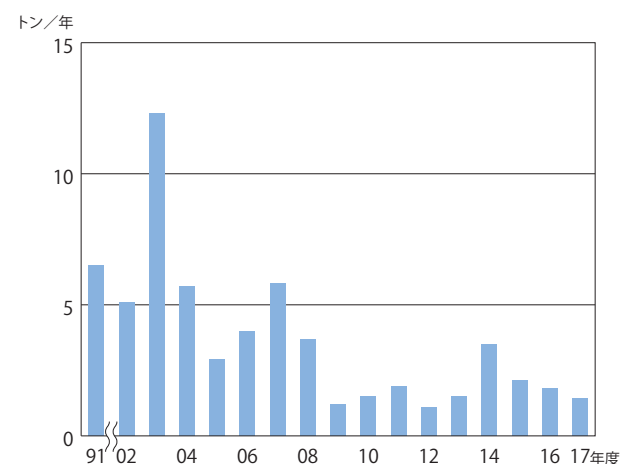


1991年と比べると、半分以上は減っているよ！

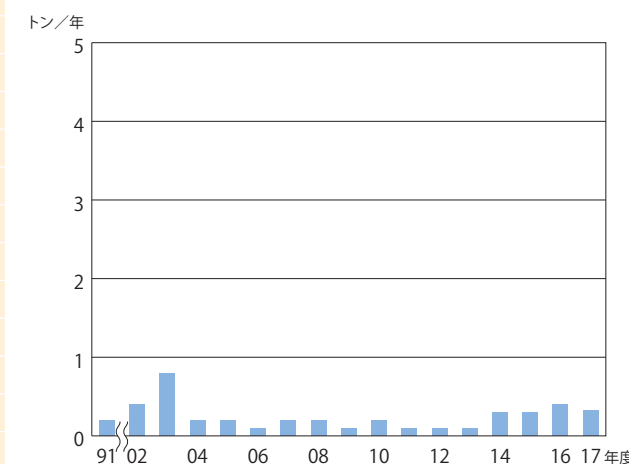


CODとは？ 湖や川、海などの水の汚染度を表すもので、汚れ（有機物）が化学的に分解（酸化）されるときに使われる酸素の量を濃度で表した値をいいます。

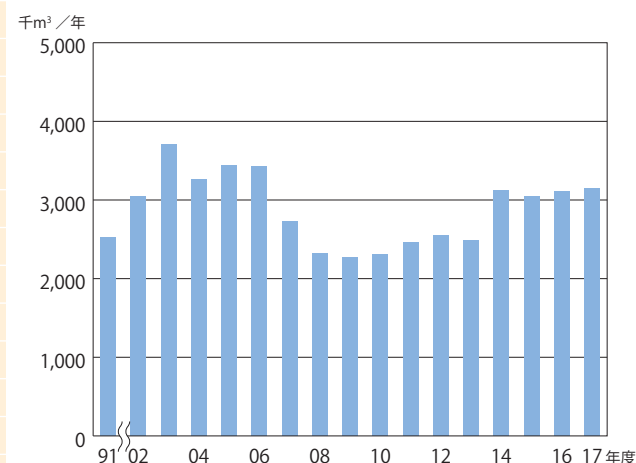
窒素排出量



リン排出量



総排水量



私たちが生活に使っている水は、ダムや川の水などを水源にしているため、私たちの生活にも深く関わってきます。

これでお魚も住みやすい環境になっていくんだね。



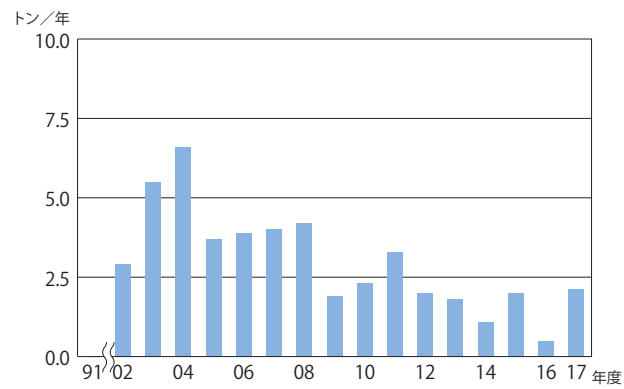
きれいな空を守るために、工場からの排出ガスの量を少なくしています。

大気汚染防止

大気汚染の主要な指標である硫黄酸化物(SOx)、窒素酸化物(NOx)、ばい塵の対策として、岡山プラントでは、法律や公害防止協定による規制値の遵守はもちろんのこと、自主的な対策の推進により排出量の抑制・削減に取り組んでいます。自主的対策として、低硫黄燃料や良質燃料の使用等を行っています。

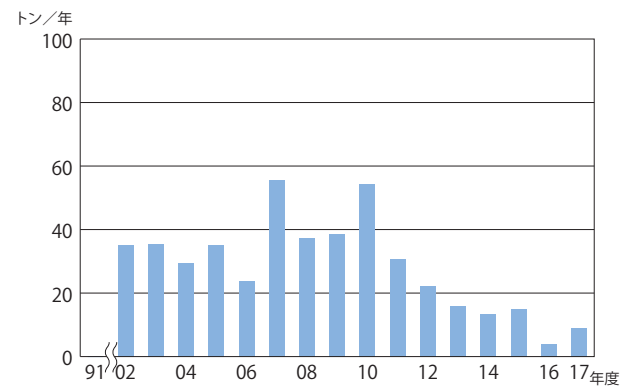
大気汚染防止の取り組みデータ

SOx排出量



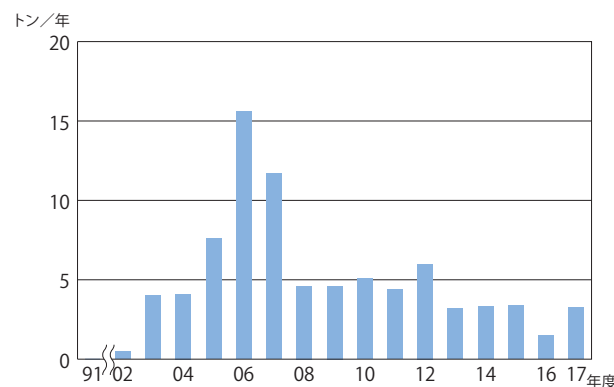
SOxとは？ 燃料などに含まれている硫黄分が燃える過程で硫黄が酸化されて発生します。のどや肺を刺激し気管支炎など人の健康への影響があります。

NOx排出量



NOxとは？ 物が燃えるときに空気中の窒素や燃料中の窒素が酸化されて発生します。人の呼吸器に影響を与えるだけでなく、光化学スモッグの原因の1つです。

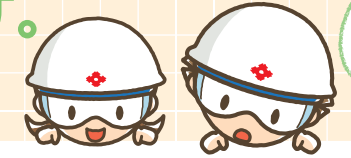
ばい塵排出量



ばい塵とは？ 大気中に浮遊する粒子状物質のうち、燃料の燃焼などに伴って発生するススなどを指します。



地域・周辺環境のグリーンな空気を保つために、工場内の脱臭に取り組んでいます。



環境を守るために、たくさんの設備があるんだね。

環境対策設備の設置

当プラントでは、環境対策設備を設置し、環境負荷の低減に取り組んでいます。また、環境モニタリングを行うなど、環境に配慮した事業所を目指して取り組んでいます。

排水処理施設



工場から出る排水を活性汚泥処理する設備です。水域への排出量を減らすよう努力しています。(P10の排水処理を参照ください。)

水質自動計測器



排水処理施設および廃液焼却設備で処理された排水の窒素・りんなどを連続監視する機器です。処理後の排水が無害であることを確認しながら海域へ放流しています。

廃液焼却設備



排水処理施設で処理することが困難な廃液を焼却処理する設備です。高温で燃やすことで完全燃焼させて廃棄物の減量化を図っています。(P10の液中燃焼処理を参照ください。)

脱硝技術・NOx連続測定機器



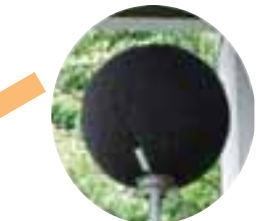
廃液焼却設備から排ガスのNOxを低減するため、アンモニア水添加燃焼による脱硝技術を導入しています。安定的に脱硝効果があることを確認するために連続測定機器を設置して常時監視しています。

活性炭吸着塔



有機化学物質・臭気成分などを活性炭で吸着処理して除去する設備です。排ガス処理施設に設置して大気への排出量を減らすよう努力しています。

騒音計



工場に設置する機器から発生する騒音を連続監視する機器です。異常音の早期発見および騒音を減らすよう努力しています。

工場で製品を作る際に出る廃棄物を少なくし、新しい資源として再利用できるようにしています。

リサイクル推進に向けての取り組み

当プラントでは、リデュース（廃棄物発生量を減らすこと）とともに、リサイクル（再利用）、リユース（再使用）を推進し、ゴミゼロに向けて取り組んでいます。

廃棄物の収集・保管状況

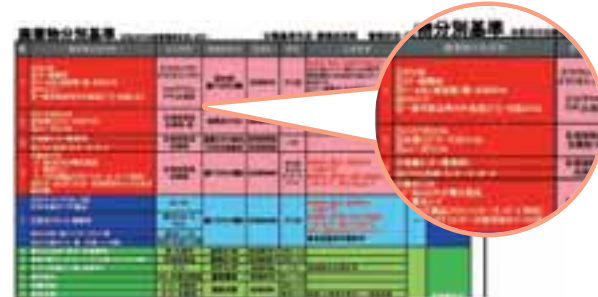
●電子マニフェストシステムの導入

産業廃棄物の処理を他人に委託する場合にマニフェスト（産業廃棄物管理票）の発行が必要です。岡山プラントでは、廃棄物が適正に処理されていることを簡単・迅速に確認できる電子マニフェストシステムを導入しています。

（政府目標：2010年に普及率50%）
（岡山プラントでは2010年度から100%運用しています）

●廃棄物の分別保管

リサイクルを推進するために、廃棄物を約30種類に分類しています。



●廃棄物の収集

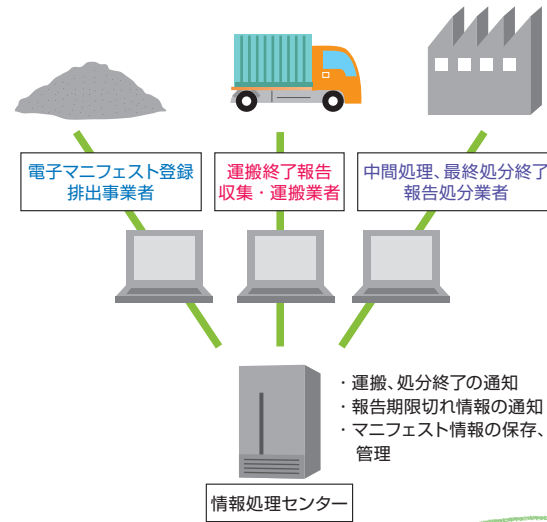
事業系一般廃棄物は「燃えるごみ」「埋立ごみ」に分別して専用車で収集しています。



清掃車（パッカー車）



脱着式コンテナ車（アームロール車）

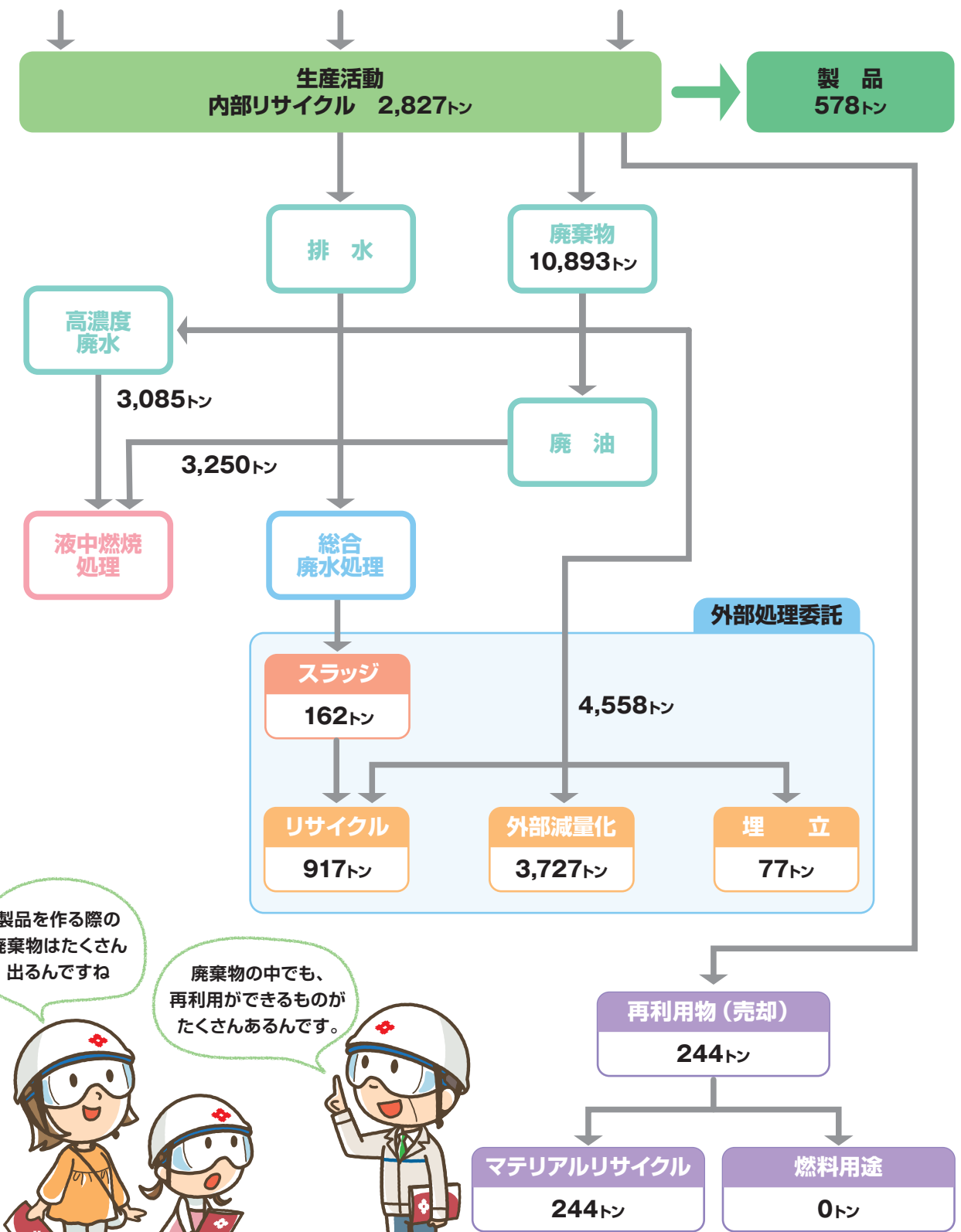


リサイクルするためには、細かな分類が必要なんだね。

専用車で収集するのは、安全に廃棄することにもつながります。

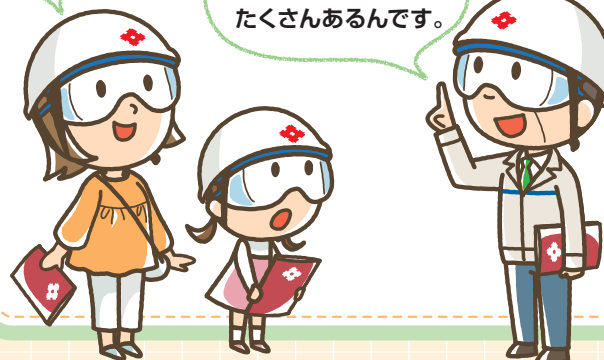
Point.1 廃棄物処理の流れ

岡山プラントでは、生産活動に伴い発生する廃棄物に関して、自社処理（中和、脱水、焼却処理等）による減量化、無害化、再資源化の推進を基本として処理しています。2017年度は以下のとおりです。



製品を作る際の廃棄物はたくさん出るんですね

廃棄物の中でも、再利用ができるものたくさんあるんです。



地球温暖化防止のため、製品開発の段階から製造まで、エネルギー使用量と二酸化炭素の排出量の削減に取り組んでいます。

省エネルギーと温暖化防止の取り組み

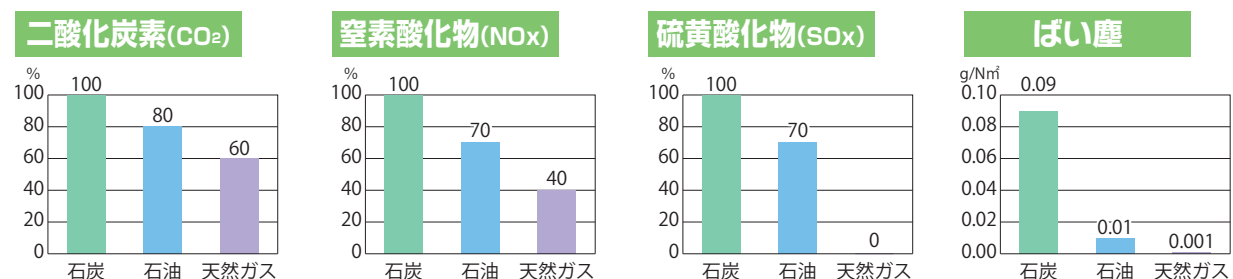
私たちの省エネルギー活動は、エネルギーの消費量を減らすだけでなく、地球温暖化を促進する温室効果ガスである「二酸化炭素」などの発生を減らすことにも併せて取り組んでいます。

●エネルギー転換

蒸気貫流ボイラーでは燃焼燃料にA重油を使用していましたが、2013年度に化石燃料の中でも燃焼時の環境負荷が最も小さいLNG(天然ガス)に切り替えました。

LNG(天然ガス)は、化石燃料の中でCO₂排出量が最も少なく、かつばい塵、SO_xの排出はほとんどゼロです。

●燃焼時の排出量のちがい

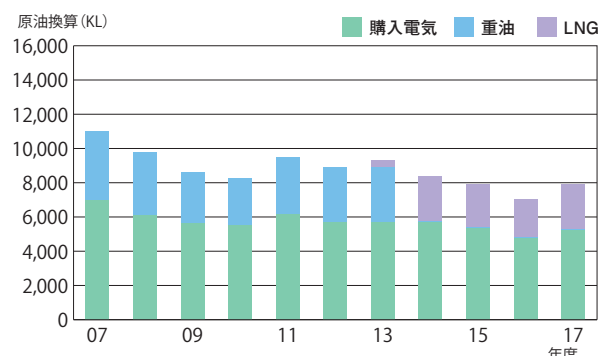


【出典】CO₂:「火力発電所大気影響評価 技術証明調査報告書」(1990.3)/ エネルギー総合工学研究所
 NO_x、SO_x:「IEA(国際エネルギー機関) Natural Gas Prospects to 2010」(1986)
 ばい塵: (社)日本産業機械工業会関西支部発行「ボイラーにおける煤塵処理システムの指針」

岡山プラントは燃料をLNGに変えることにより、原油換算エネルギー量及び二酸化炭素排出量を削減することを進めます。

Point.2 原油換算エネルギー

岡山プラントでは、2013年度より燃焼燃料を重油からCO₂排出量の少ないLNGに転換し、ボイラー効率の改善を行い、2014年度は年間で300KL(原油換算)のエネルギー消費量の削減、CO₂排出量は1,900トンの削減を達成できました。引き続き蒸気ボイラーの効率化等、エネルギー使用量の削減及びCO₂排出量削減に取り組んでいきます。



PRTR対象物質(特定化学物質)の管理

PRTRとは、環境に有害な恐れのある物質の大気や水域、土壌などへの排出量および廃棄物として事業所の外へ移動する量を行政に届け出て、公表していく制度です。

PRTR法「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の施行により、2001年度の実績から特定化学物質の環境への排出量等を毎年、岡山県に届け出ることが義務付けられています。

この法律で指定されている化学物質(第一種指定化学物質)は、462種類です。当プラントでは、2017年度は下の表の14物質を報告しました。

PRTR該当物質排出量・移動量一覧表(2017年4月~2018年3月)

化学物質名	排出量				移動量(※1)		
	大気	水域	土壌	排出計	下水道排出	廃棄物処理	移動量総計
2-アミノエタノール	2.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0
N,N-ジメチルホルムアミド	61.0	0.0	0.0	61.0	0.0	39,075.0	39,075.0
アクリル酸メチル	91.0	0.0	0.0	91.0	0.0	0.0	0.0
アセトアルデヒド	39.0	2.0	0.0	41.0	0.0	0.0	0.0
アセトニトリル	14.0	0.0	0.0	14.0	0.0	522.0	522.0
エチルベンゼン	488.0	64.0	0.0	552.0	0.0	10,618.0	10,618.0
キシレン	318.0	40.0	0.0	358.0	0.0	10,724.0	10,724.0
ダイオキシン類	0.000069	0.283736	0	0.283805	0	0	0
トリエチルアミン	42.0	0.0	0.0	42.0	0.0	9,718.0	9,718.0
トルエン	1,062.0	5.0	0.0	1,067.0	0.0	37,591.0	37,591.0
ノルマル-ヘキサン	1,231.0	25.0	0.0	1,256.0	0.0	0.0	0.0
ヒドラジン	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	141.0	141.0
塩化ベンジル	6.0	0.0	0.0	6.0	0.0	0.0	0.0
無水フタル酸	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	3,357.0	136.0	0.0	3,493.0	0.0	108,389.0	108,389.0

(※1) 移動量とは、当地区外で処理される量です。
 (※2) ダイオキシン類の単位はmg-TEQです。



環境を守るための活動費用と効果を認識し、より効果的に活動を進めていくための仕組みを作っています。

環境会計

環境会計とは、環境保全活動を実施するための費用と、その活動から得られる効果を示したものです。継続的に、かつ効果的に環境保全活動を進めていく上で重要な指針となります。この環境会計の報告は、環境省が公表した「環境会計ガイドライン」を参考に作成しています。また、住友化学の環境会計は第三者機関（KPMG あずさサスティナビリティ株式会社）による審査を受けています。

■ 環境保全コスト(2017年度)

(単位:百万円)

分類	主な取り組み内容	投資額	費用額(※)
事業所	環境対策コスト	22	177
エリア内	地球環境保全コスト	0	0
	資源循環コスト	0	158
小計		22	336
上・下流コスト	グリーン購入・リサイクル	0	0
管理活動コスト	教育、環境対策組織運営	0	18
研究・開発コスト		0	0
社会活動コスト	緑化、景観改善	0	1
環境損傷コスト		0	0
合計		22	354

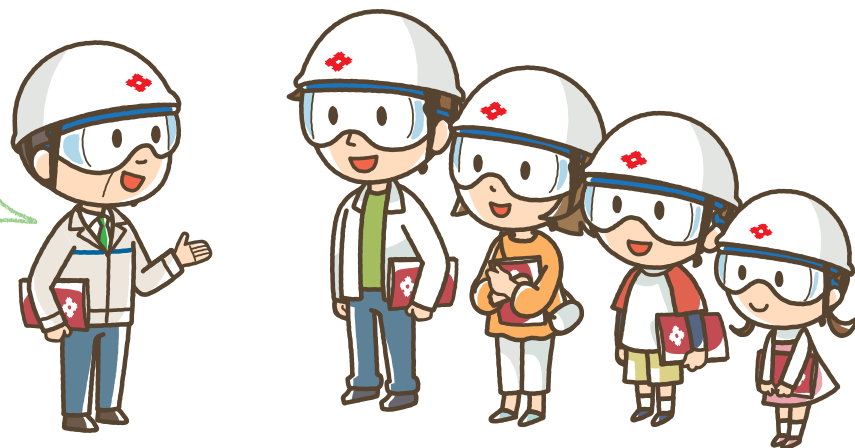
■ 経済効果(2017年度)

(単位:百万円)

項目	経済効果
リサイクル活動による効果	0
省資源による効果	88
省エネルギーによる効果	9
合計	97

(※)費用額とは、運転費用です。

ここまでが、「環境保全」です。岡山プラントは環境を守るために、さまざまな取り組みを行っています。次は、「化学品の安全・品質保証」について見てみましょう。



製品の安全は、どうやって確かめているのですか？



化学物質の安全性研究に取り組み、安心して使っていただける製品をお届けしています。

化学品安全活動

岡山プラントでは、化学製品の開発から出荷・使用・廃棄にいたるまで化学物質の適正管理に努めています。長年にわたり蓄積してきた化学物質の安全性評価に関する豊富な知見と最新技術を駆使して、安全性の確保や環境の保全に努めています。蓄積した製品や原材料等のデータベースのシステム(SUCCESS)では会社データの情報が活用でき、またお客様からのお問い合わせや、法規制対象物質の含有確認などに有効活用しています。



愛媛にある生産安全基盤センターには、災害防止を専門に研究する「安全工学グループ」があります。国内有数の研究設備を備えた専門家集団で、取り扱い物質の危険性の測定や「プロセス安全検討会」などにも参加して、岡山プラントの無事故・無災害に大きく役立っています。また、大阪にある生物環境科学研究所では、化学物質の安全性の研究を行っています。岡山プラントの製品もこうした努力に支えられて、社会の信頼を得ています。



Point.3 品質保証

岡山プラント品質方針

品質力、技術力、対応力を基に、お客様が満足する安定した品質の商品を提供します。

岡山プラントでは、GMPに適合した方法設備で医薬品原薬やその医薬品原薬の中間体を生産しています。また、薬事法への適合だけでなく、米国FDA等の海外の当局の査察に適合しています。

GMP: 医薬品適正製造基準
FDA: 米国食品医薬品局



化学品の管理や、品質は、万全に行っています。



工場の安全は、 どうやってつくっているの？

周辺地域や工場、従業員の安全を第一に考え、
安心して働ける、職場環境づくりを目指しています。

安全文化を深める

岡山プラントの労働災害は完全無災害を702日(2018年3月31日現在)継続しています。
毎月第一営業日に構内のお稲荷さんで、各職場代表「安全の誓い」、プラント長「安全講話」を行
い、ゆびさし唱和で安全意識の高揚を図るほか、種々の安全活動を展開しています。



安全祈願



各職場代表「安全の誓い」

このような活動を
続けることが
みんなが健康で安心して
働ける職場づくりに
つながっていくんだね。



協力会社を含む合同朝礼でのプラント長「安全講話」



指差呼称

従業員の教育・訓練

教育・訓練については、法定教育をはじめ意識教育、技能教育、緊急時処置訓練教育など多方面
にわたり実施し、環境・安全についても幅広く教育を行っています。



熱中症予防講演会



危険予知訓練

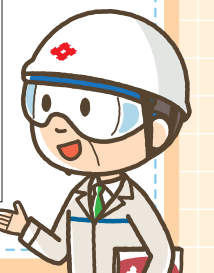


救命救急講習会

Point.4 OSHMS(労働安全衛生マネジメントシステム)の運用

OSHMSとは、中央労働災害防止協会の提唱する、PDCA(計画-実施-
評価-改善)サイクルを回し、自主的かつ継続的に労働安全衛生管理を行う
仕組みです。岡山プラントでも労働災害の潜在的な危険性を低減すると
ともに、構内で働く人の健康増進や快適な職場環境づくり、あるいは安全衛
生水準の向上に役立つ取り組みとして、2007年4月より運用を開始し、
2009年2月に中央労働災害防止協会の登録認証を取得、2018年2月に更
新しました。

労働安全衛生管理に
しっかり取り組んでいる
証なんです。



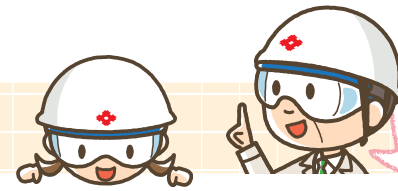


大きな地震が 起こっても大丈夫？

工場では、事故や災害が起こらないよう努力し、緊急時のために、さまざまな訓練を行っています。

保安・防災のために

- 1 事故や火災を未然に防止するために、製品の開発段階から危険性の評価を行い、より安全に製造するための検討会を開いて、危険性評価に応じた操作手順および製造設備の改善を実施しています。
- 2 事故および緊急事態が発生した場合に備え、各種消火設備の点検や異常時の早期発見および迅速な通報連絡の訓練、緊急処理や汚染の拡大防止措置が的確に行えるように保安防災体制を整備しています。



突然の地震への対策も
しっかり対応
できるように
しているんですよ。

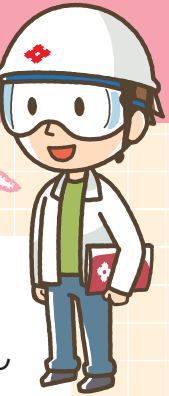
防災訓練

事故および緊急事態に対応するため災害を想定した防災訓練を実施し、確実に対応できる人材の育成を行っています。



事故発生を想定した総合防災訓練

定期的に
訓練することで、
従業員のみなさんの
高い意識が保たれて
いるんですね。



児島消防署との合同防災訓練

工場での災害発生を想定し、緊急時に迅速な対応ができるよう、児島消防署と合同で訓練をしています。



現地指揮本部長から公設消防隊へ状況説明 公設消防隊による消火活動

地震・津波対策

地震計、緊急告知FMラジオ、緊急地震速報受信機を設置し、地震・津波発生をより早く入手できるようにし、緊急時に地区全体の安全対策が速やかにとれるようにしています。



地震計

緊急告知FMラジオ

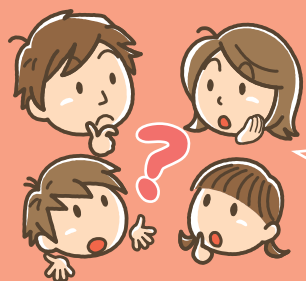
緊急地震速報受信機

Point.5 緊急時の情報伝達

夜間・休日の災害発生時にワンタッチで情報を発信し、迅速に対応人員の招集・緊急駆け付けができるよう、緊急情報伝達システムを導入しています。



ワンタッチボタン



周辺地域の人たちと どんな交流をしているの？

地域の皆様と様々な交流を通し、
地域社会への貢献と環境美化に努め、
より深くつながりあう中で理解を深めていけるよう、
私たちは活動をしています。

地域子供会への支援

住友化学では2009年から、こどもFBB（フットベースボール）大会を開催しています。
第9回大会は2018年3月10日（土）に倉敷市六間川緑地公園で行われ、地域の子供会18チーム、
約300名の小学生が参加しました。



清掃ボランティア活動

地域のみなさまとの
理解を深める
大切な機会です。



2017年6月4日、地域の一斉清掃日に、住友化学の社員と家族、協力会社の
社員など合計32名で工場周辺の道路の清掃作業を行いました。



2017年11月25日、児島市民病院の清掃ボランティアに、住友化学と協力会社の社員も参加し、
地域の方々と共に病院玄関周辺の樹木などの剪定作業を行いました。





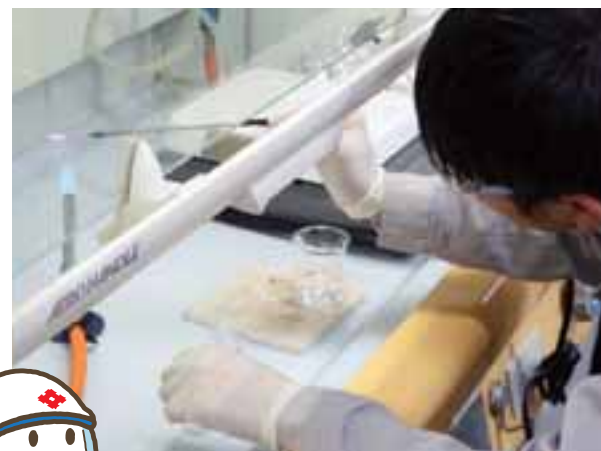
環境保全活動トピックス

地元高校生、中学生の研修受け入れ

学生の頃から会社の活動に理解と興味を深めてもらうため、琴浦中学校と倉敷鷺羽高校から毎年、職業体験としてインターンシップ研修の受け入れを行っています。

2017年度は7月に高校生3名を、11月に中学生3名を受け入れました。

この中で、化学工場における災害防止や環境保全の取り組みについても学習していただきました。



化学実験出前授業

2018年3月、地元の琴浦東小学校6年生(2学級)を対象に、化学実験の出前授業を行いました。化学を少しでも身近なものに感じてもらうと、結晶析出の観察や、液体窒素を使って風船や花を凍らす実験を体験していただきました。

各実験台には当社の製造、技術、品質、環境安全などに関わる社員が講師役として付き、安全に楽しい実験ができるように配慮し、児童の皆さんも興味をもって取り組んでいただきました。



僕も授業
受けてみたいな。



地域の子どもたちに、
化学の楽しさを
伝えています。

